

令和5年度 学校評価 結果（職員）

1 回収率 95%（100／105）

* R4は教務・事務の合算値

2 結果

（A：十分 B：おおむね C：不十分 D：まったく）

参考

		評価項目	評価				平均	R4年度
			A(4)	B(3)	C(2)	D(1)		
学校運営	1	教育目標・年度の重点の共通理解が図られ、各部署の計画に反映されているか。	5	80	14	1	2.9	3.1
	2	各部署の運営において、自らが協働意識をもって、互いに連携を図り、業務を進めているか。	5	72	21	3	2.8	3.1
	3	諸会議や打合せは、計画的・効率的に行われているか。	8	52	34	7	2.6	3.0
	4	北海道アクションプランを意識した働き方をしているか。（時間外勤務の縮減等）	7	47	41	6	2.5	3.0
	5	地域の特別支援教育のセンター的役割を果たしているか。	18	67	11	2	3.0	3.2
	6	情報モラルを意識して情報機器等を活用しているか。	20	59	18	4	2.9	3.2
	7	一人一人が服務規律を保持しているか。	28	59	13	1	3.1	3.3
	8	管理職は学校課題の解決に向けてリーダーシップを発揮しているか。	10	55	29	5	2.7	3.0
教育活動	9	授業・生活指導が一人一人の生徒にわかりやすいように工夫されているか。	7	68	23	2	2.8	3.1
	10	ICTを活用した学習が計画的に進められているか。	4	59	35	3	2.6	－
	11	社会的ルールやマナーなど、卒業後の生活に対応した指導が実施されているか。	5	66	26	2	2.7	3.1
	12	体罰（暴言など不適切な指導も）のない節度ある行動、態度がとられ、指導ができているか。	31	57	12	1	3.2	3.4
	13	生徒の悩みや不安などを時間をかけて相談にのるなど、きめ細かな生徒指導を行っているか。	22	60	18	0	3.0	3.4
	14	男女交際や性指導などの生徒指導は、思春期及び生徒の実態に対応しているか。	9	62	28	1	2.8	3.0
	15	いじめや人間関係のトラブルがあった時、適切に対応しているか。	22	59	20	0	3.0	3.3
	16	個別の指導計画は、発達段階や系統性を考慮するとともに、生徒の成長過程が見やすいものとなっているか。	15	69	15	1	3.0	3.1
進路指導	17	卒業後の生活を見据えた目標と見通しが育つよう、生徒や保護者のニーズに応じた進路指導を行っているか。	11	70	18	1	2.9	3.3
保護者や地域等との連携	18	家庭との連携・連絡をスムーズに進められたか。	21	74	6	0	3.1	3.3
	19	学校だより、寄宿舎だより、PTAだより等は、保護者や地域の情報源として効果的に機能しているか。	16	72	11	1	3.0	3.0
	20	医療機関や相談機関、労働機関等との連携に努めているか。	17	67	15	0	3.0	3.2
	21	地域資源の活用、地域貢献活動など、地域と関わる教育活動に取り組んでいるか。	24	67	9	1	3.1	3.3
	22	PTA活動は保護者と教職員が連携、協力して活動を推進し、社会情勢にあった活動となっているか。	18	74	8	0	3.1	3.0
会計	23	予算は、計画的、効果的に執行されているか。	9	78	13	1	2.9	3.3
給食/健康	24	給食は安全・栄養を考慮して提供されているか。	17	60	18	6	2.9	3.0
	25	健康教育は、肥満、疾病、食など生徒の実態に応じて指導されているか。	19	67	12	2	3.0	－
研究・研修	26	積極的に専門性や指導技術の向上を図るために研修を行ったか。	20	60	21	0	3.0	2.9

2.9

3.1

3 考察

保護者や地域に開かれた教育活動への取り組みから「保護者や地域等との連携」の項目が比較的高い評価につながっていると考えられる。

また、「時間外勤務の縮減」「諸会議の効率化」など働き方改革に関わって、より組織的な取り組みや、「社会的ルールやマナーなど、卒業後の生活に対応した指導」への取り組みへの課題が上げられており、今後、より具体的な方策の検討実施が必要と考える。